



ふるさと 水戸5月

「あい」のある学校・地域 つながれ水戸っ子

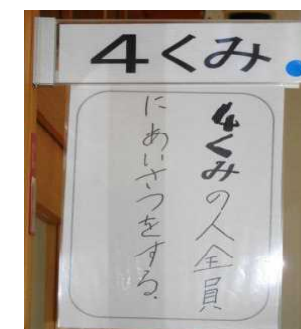
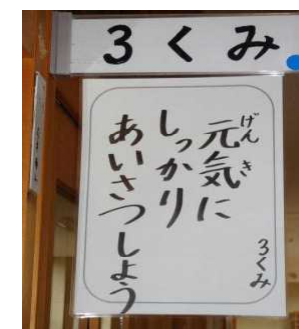
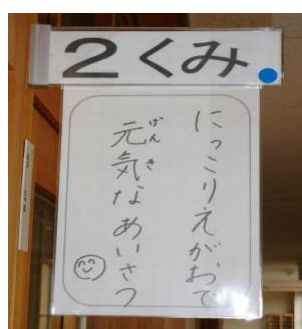
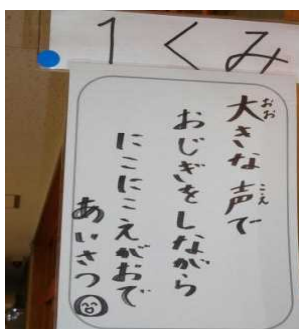
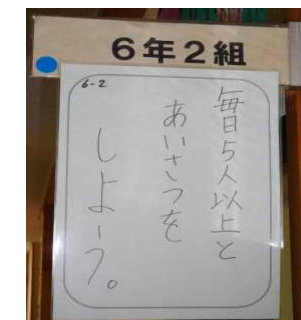
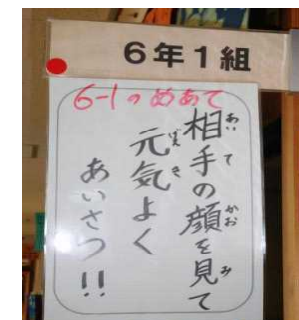
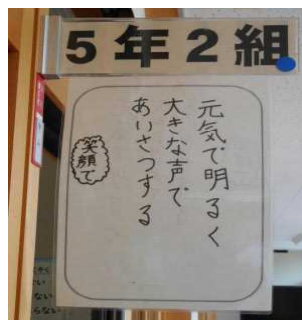
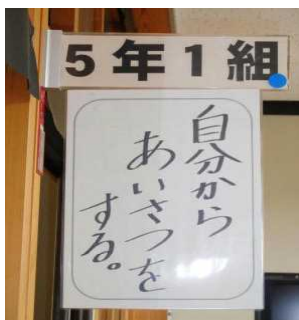
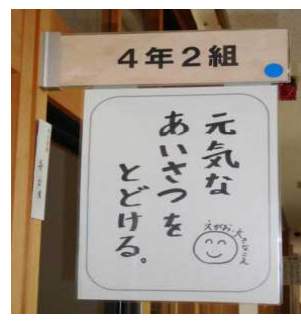
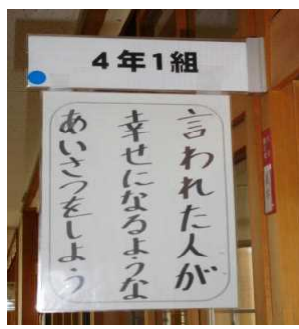
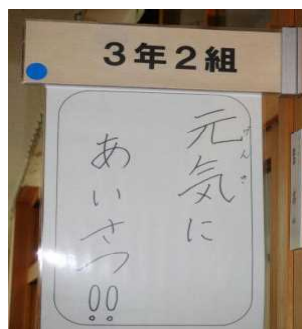
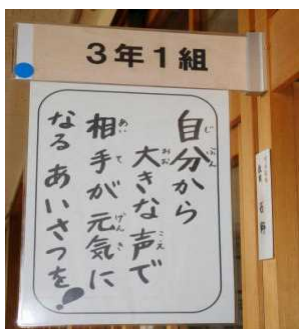
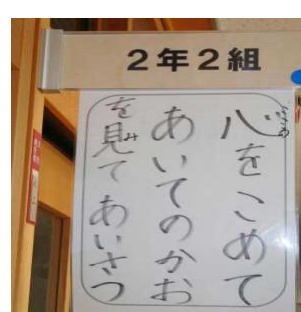
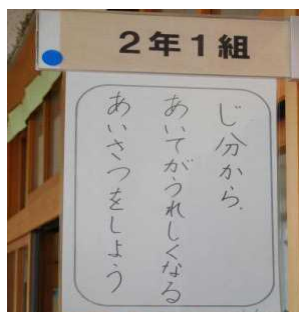
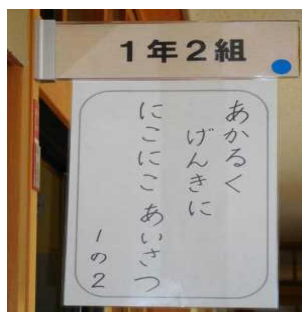
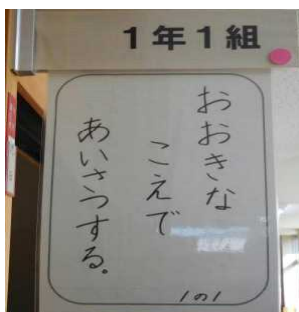
5月はさわやかなあいさつで



～水戸っ子がみんなで取り組みます～

目標を持って生活することは大切なことですが、今年度は、期間を決めて各クラスで目標を設定して取り組みます。学級のプレートの下に掲示しては、目標を見える化しています。5月は、「あいさつ」をメインテーマに、クラスごとに目標を決めました。

5月から6/7(火)のめあてです。



タブレット端末を使って

先日のゴールデンウィーク中には持ち帰りもしていましたが、日常の授業の中でも、タブレット端末を使った学習を進めています。調べ学習や計算ドリル、自分の走る姿を撮影してもらって振り返るといったことも行っています。また、各自が学習した内容や、理解の様子を伝えたりもしています。ICT機器を利用した取組も進めていきます。



計算のドリル練習



ランニングフォームのチェック

田植えをしました

5/11(水)に5年生によって、今年も学校田に田植えを行いました。たくさんのボランティアさんの協力のもと、一列に並んで手渡された苗を植えていきました。朝からお天気を心配していましたが、予定通りに実



施できました。田んぼの独特の感触を体験しながら泥んこになって頑張ってくれていました。学校に戻ってからは、ほっこりと疲れが出ていましたが、田植えをした達成感が漂っていました。子どもたちの学びには、生活科や理科での自然観察や栽培活動のように、その季節でしか学べないものも多くあります。「季節を五感で感じる」学びも大切にしたいです。



水戸に吹く風

朝の登校の見守りをしていると、この所、飼育ケースを手に登校してくる子どもを見かけます。「カナヘビ」が一番多いでしょうか、「アオムシ」、「カニ」もいました。以前勤務していた中学校は、校舎の裏手が山になっていて、雨が降るとカニが校庭にある側溝に出てくることがありました。わたしが、生き物を飼うのが好きなことを知っていた生徒が、「先生、カニ獲ってきました!」とキラキラした瞳で持ってきてくれたことがあったことを思い出していました。飼育ケースを持っている子どもたちに声をかけると、「これ〇〇でとってきてん」「もっとたくさんいるんやで」「また、教室に見に来て」などと、とてもうれしそうに、そして誇らしげにキラキラ瞳を輝かせて話してくれます。純粋な子どもたちの姿に心が和みます。こういった場面の中にも、学びがあり、自尊心の高まりがあります。大切にしていきたいと思います。ちなみに、今でも、わたしの家では、メダカや沼エビを飼育しています。今年は、カブトムシも復活したいと考えているのでした。(山田)



←カニを持ってきてくれました